



その救急車は本当に必要ですか？

みんなで守る 救急医療

救急医療を守る

一人ひとりの心がけ

救急医療を守っていくためには、救急医療を適切に利用するということ一人ひとりの心がけが重要です。

救急医療は緊急事態に備えるもので、限られた医療スタッフにより運営されています。できる限り、検査などを含めた診療体制が整っている通常の診療時間内に受診しましょう。

症状や緊急度に応じて、救急医療は3つに分類できます(下図参照)。

一次救急

比較的症状の軽い患者さん

- 開業医、国保診療所
- 高山市休日診療所

二次救急

入院や手術が必要な重症の患者さん

- 久美愛厚生病院
- 飛驒市民病院

三次救急

特に症状の重い患者さん

- 日赤救急救命センター

症状・緊急度



近年、全国的にも救急車の出勤が増え

ており、高山市も例外ではありません。

また、病院の救急外来への比較的軽症

の患者が休日や夜間に気軽に受診するた

め、病院の勤務医からは限界との声も聞

こえてきます。

このままでは、市民の皆様本来の救

急医療を提供することができなくなる恐

れもあります。私たちが今すぐできるこ

とから始めましょう。

問 合 先

医療課 ☎35-31177
救急課 ☎32-01119

身近な「かかりつけ医」・

「かかりつけ薬局」を持ちましょう

日ごろから気軽に相談できる「かかりつけ医」を持ち、早めの受診を心がけるとともに、健康診断を積極的に受けるなど、病気の予防にも努めましょう。

また、処方箋による薬の調剤はこの薬局でも同じですが、できるだけ自分の服用歴が記録・保存されている「かかりつけ薬局」を持ちましょう。

薬の重複や飲み合わせのチェックはもちろん、普段の常備薬など気軽に相談できます。

不安解消にまずは

「健康・医療相談ダイヤル24」

健康・医療相談ダイヤル24とは、健康相談や医療相談、出産・育児・介護の相談など、幅広くみなさんの相談にお答えします。医師や看護師などの専門スタッフが分かりやすくアドバイスします。プライバシーも守られますので安心して相談してください。

☎0120-54-7830

※通話料・相談料無料。
24時間対応です。

この白い杖のシグナルは、あなたの助けを求めています。



左記のマークは、視覚障がいの方が白杖を頭上50cm程度に掲げてサポートを求める「白杖SOSシグナル」のシンボルマークです。サポートを求める視覚障がいの方を見かけたら、すすんで声をかけましょう。

●白杖SOSシグナルを見かけたら

- 1 まず声をかけましょう
- 2 困っていることを聞きましょう
- 3 そしてサポートしましょう

困っていることや支援してほしいことを聞いたら、みんなでサポートしましょう。

問 合 先 福祉課 ☎35-3356